平成25年度トイレ意識調査の結果(中学校編)

平成26年3月27日

- Q1.あなたは、学校のトイレで洋式と和式のどちらを利用しますか?
- Q2.あなたが、洋式(和式)を使う理由、使わない理由を教えてください。
- Q3.今後、学校のトイレに望むことは?

A1.集計結果

利用者数					利用率		
学年	洋∙和	男	女	計	男	女	計
1年	洋式	100 人	46 人	146 人	81.3 %	35.9 %	58.2 %
	和式	23 人	82 人	105 人	18.7 %	64.1 %	41.8 %
2年	洋式	79 人	38 人	117 人	79 %	33.6 %	54.9 %
	和式	21 人	75 人	96 人	21.0 %	66.4 %	45.1 %
3年	洋式	93 人	37 人	130 人	72.1 %	35.6 %	55.8 %
	和式	36 人	67 人	103 人	27.9 %	64.4 %	44.2 %
全体	洋式	272 人	121 人	393 人	77.3 %	35.1 %	56.4 %
	和式	80 人	224 人	304 人	22.7 %	64.9 %	43.6 %

A3.今後の学校トイレに望むこと

- 臭くなくてきれいなトイレにしてほしい
- ・シャワー機能、暖房便座、脱臭機能をつけてほしい
- 鏡を増やしてほしい
- 床や壁をパステルカラーにしてほしい
- いい匂いがするように欲しい
- もっと室内を明るくしてほしい
- 水の流れをよくしてほしい
- ・個室内に衣服をかけるフックがほしい
- ・ 消音装置が欲しい(節水にもなる)
- 換気しやすくしてほしい
- 自動で水を流してほしい
- 便座を拭く消毒液をつけてほしい
- ・手洗い水道を自動にしてほしい
- 個室の壁を高くしてほしい
- 個室を広くしてほしい
- ・男子トイレの小便器を大きく欲しい
- 上履きのまま入れる床にしてほしい
- 洋式のトイレを増やしてほしい
- 水を流すボタンを壁につけて欲しい
- ・武道場のトイレに洋式が欲しい
- 窓に網戸が欲しい
- ・ペーパーホルダーを高い位置に設置してほしい

・バリアフリーになるとよい

など

A2.洋式(和式)を使う理由、使わない理由

(洋式を使う理由)

- 座れるので楽だから
- 家のトイレと同じだから
- ・ふたがあるから
- 和式が苦手だから
- 和式よりきれいだから
- 服を床につけなくてすむから
- 床が清潔だと思うから
- 怪我をしているときに楽に使えるから
- · 考え事ができる

など

(洋式を使わない理由)

- たくさんの人が使っている便座に座りたくない
- 便座が冷たいから
- 便座が汚い気がする
- トイレの中がせまいから
- 数が少なくて使えないから
- ・トイレットペーパーがとりずらいから
- ・暗くて落ち着かないから
- 消毒ペーパーがないから
- 怪我をしている人に譲りたいから

など

(和式を使う理由)

- 和式しか空いていないから
- 便座に座らなくてよいから
- 小学校が和式だったので慣れている
- ・ 和式の方が清潔な印象がある
- 足腰が鍛えられる
- ・ 跨ぐだけなので楽
- 学校ではみんな和式を使っているから
- ・ふんばりやすいから

など

(和式を使わない理由)

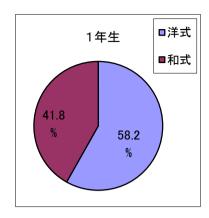
- 使いにくい
- 汚い気がする
- しゃがむのが疲れる
- 幽霊が出そうだから
- 家と違うから
- ・ 服を汚してしまいそうだから
- レバーを手で触りたくないから
- はみだしてしまうから
- 足が疲れるから
- 腰が痛くなるから
- 物を落としてしまいそうだから
- 床の汚れが気になるから

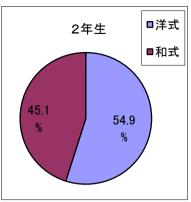
など

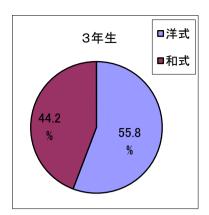
☆この調査は市内各学校の協力のもと生徒を対象に実施した 無記名アンケートの結果を集計したものです。

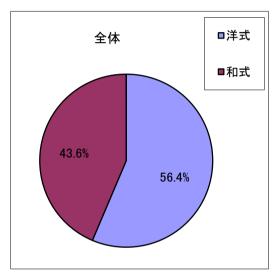
> 回答者総数:697人 (うち男子:352人、女子:345人)

中学校における洋式・和式トイレの利用率(男女混合)









☆調査結果の傾向および分析

制査の結果、半数以上の生徒が洋式トイレを利用していることが確認されました。 一方、小学校の調査結果と比べると和式トイレの利用する割合が増えていることも判明いたしました。 た。

こうした傾向の理由としては、第一に洋式トイレの数が不足しており、使いたくても使えない生徒が多くいることが挙げられ、この点については今後施設整備の面からも改善が必要と思われます。 第二に、洋式トイレが空いている状況でもあえて和式トイレを選ぶ生徒が少なからず存在する現実があります。

特に、生徒たちの意見として多く聞かれたのが、他人が使った便座に座りたくないという理由です。 不特定多数の人物が使う洋式トイレの便座について、不潔と捉える傾向は他の世代にも存在することと思われますが、多感な時期にある中学生たちはその傾向が特に顕著であり、強い抵抗感・嫌悪感を持っていることがアンケート結果からは伺われました。

こうした状況への対策として、ひとつには生徒からの要望も多かった便座消毒液等の設置や今後も 和式トイレを併設するなどの手法が挙げられます。

しかし、学校という教育現場においては、正しい知識の獲得や清潔な環境づくりを通してこの問題を解決することも、また重要となります。

特に、洋式トイレの利用者、和式トイレの利用者ともその衛生状態に対して誤った認識(洋式トイレの便座部分が汚いとの思い込みや和式トイレへの無根拠なネガティブイメージなど)を持っていることから、この点については教育的観点からのアプローチが非常に重要と思われます。

生徒たちがトイレ利用に関する誤解を解消し、正しいマナーを獲得することができれば、自然とトイレがきれいで心地よい空間となるだけでなく、トイレピカピカプロジェクトによる施設整備が行われた後も、末永くピカピカなトイレを維持していくことが可能となります。